

V60 温度調整付き パワーケトル・ヴォーノN

Buono

日本国内専用
一般家庭用

EVT-80



本製品は温度調整機能付き 湯沸かし専用ケトルです。

取扱説明書 保証書付

お買いあげ誠にありがとうございます。
正しくご使用していただくため、ご使用
の前にこの取扱説明書を必ずお読みく
ださい。また、本書は保証書が付属して
おりますのでお読みになりましたら、大
切に保管してください。

目次








ご使用のまえに	1
安全上のご注意	2 ~ 5
各部の名称	6
ご使用方法	7 ~ 11
お手入れの方法	12
故障かな?と思ったら	13
製品仕様・アフターサービスについて	14
保証書	裏表紙

HARIO

ご使用のまえに

警告マークについて

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しています。このマークは、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。また、これらのマークを表示してある事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

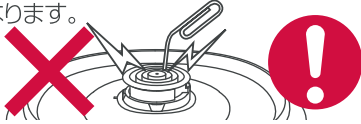
警告マークの種類	警告マークの内容
 危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。
例  感電注意	△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の例では感電注意）が描かれています。
例  分解禁止	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。マークの中やマークに隣接する文章に具体的な禁止内容（左図の例では分解禁止）が描かれています。
例  電源プラグをコンセントから抜いてください  指示を守ってください	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

- 感電・やけど・火災・故障などを防ぐために、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

⚠ 危険

電源コネクタ部分はケトル本体と電源プレートとの通電部分です。金属製クリップやヘアークピンなどの異物を接触させないでください。感電・ショート・発火の原因となります。



⚠ 危険

直火にかけないでください。



⚠ 警告

使用中、電源プラグ・電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止してください。



⚠ 警告

定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



⚠ 警告

ケトル本体底部や電源プレートを水に浸さないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



⚠ 警告

加熱中もしくは加熱後しばらくはケトル本体胴部やフタ、注ぎ口周辺の金属部分には手を近づけないでください。やけどをする恐れがあります。



⚠ 警告

お子様に使用させないでください。また、幼児のそばで使用したり、幼児の手の届く所に置かないでください。



安全上のご注意

警告

ハンドルのぐらつきなど異常を感じた際は、ただちに使用を中止し、当社のご相談窓口までご連絡ください。



警告

交流100V以外では使用しないでください。故障・火災・感電の原因となります。



警告

強い衝撃を与えないでください。破損・故障・短寿命の原因となります。異常を感じた場合は使用を中止してください。



警告

電源プラグのほこりなどは、定期的に取りってください。プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



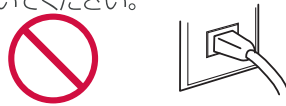
警告

電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



警告

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグや緩んだコンセントは使わないでください。



警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



警告

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因となります。



安全上のご注意

警告

MAX目盛(0.8L)以上の水を入れないでください。吹きこぼれやけどをする恐れがあります。



警告

最小容量(0.3L)以下の水で使用しないでください。湯沸し機能が正常に働かない原因となります。



警告

不安定な場所や熱に弱い敷物の上やカーテン等の可燃物の近くで使わないでください。やけどや故障・火災の原因になります。



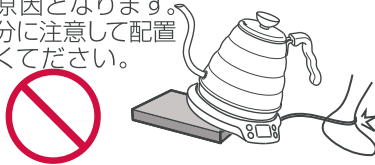
警告

電源プレートは本製品専用です。他製品に使用しないでください。また、ケトル本体にも他製品の電源プレートを使用しないでください。



警告

電源コードは足やものに引っかけると、本体の落下や転倒によりやけどやけがの原因となります。十分に注意して配置してください。



警告

コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。



警告

フタを勢いよく開け閉めしないでください。お湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。また、ケトルを傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動したりしないでください。お湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



安全上のご注意

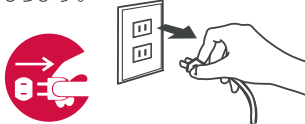
⚠️ 注意

使用中、電源プレートにケトル本体をのせたまま移動させないでください。けがややけど、故障の原因となります。



⚠️ 注意

お手入れの際は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。けがの原因になります。



⚠️ 注意

加熱中はフタを開けないでください。自動電源OFF機能や温度調整機能が正常に動かない原因となります。



⚠️ 注意

水以外のものをケトル本体に入れて加熱しないでください。故障の原因となります。



⚠️ 注意

加熱中はフタを開けたり、差し水をしたりしないでください。お湯が飛び散ったり、高温の蒸気による、やけどの原因となります。



⚠️ 注意

操作パネルに水をかけたりしないでください。ショート・感電・故障の原因となります。



⚠️ 注意

注ぎ口の先端は鋭利になっています。お取扱い、お手入れの際は注ぎ口の先端でけがをしないように、ご注意ください。



⚠️ 注意

水、またはお湯の入っていない状態で電源ボタンを押さないでください。空だき防止機能が動き電源が切れますが、金属プレート部分が熱くなり、やけどや故障の原因となります。



⚠️ 注意

長時間直射日光が当たる場所、ペットなどが通る場所、浴室などの湿気の多い所では使用しないでください。本体の変形、故障、事故、火災の原因となります。



⚠️ 注意

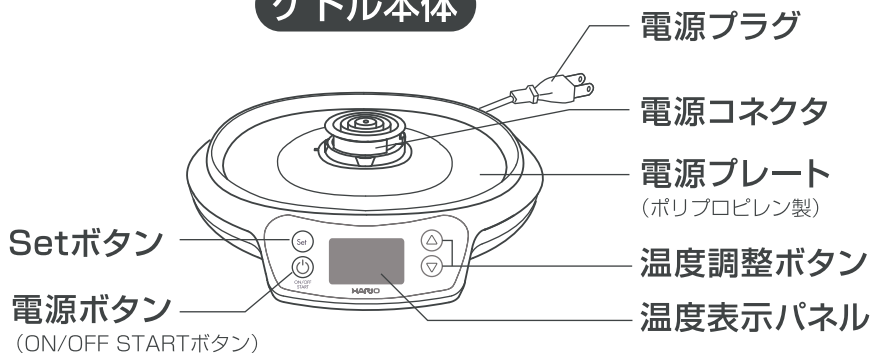
破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。廃棄する際は、各自治体の指示に従い分別してください。



各部の名称



ケトル本体



電源プレート

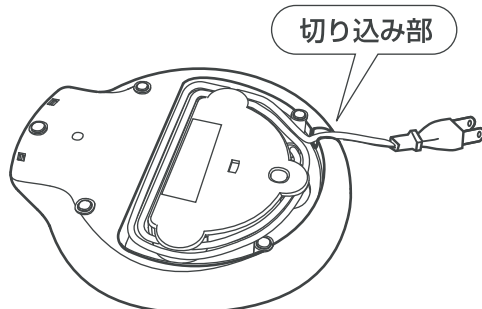
電源コードの収納

電源コードは電源プレートに収納することができます。

電源プレートの裏にコードを巻きつけ、電源プレート切り込み部分にコードをセットします。

ご使用時、コードは必ず切り込み部分にセットして使用してください。

※コードを収納したまま使用しないでください。



ご使用方法

本製品には、2種類の加熱モードが搭載されています。

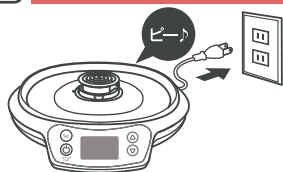
「沸騰モード」 : 100℃設定
100℃まで加熱し、保温は行わないモード。

「温度調整モード」 : 50℃～96℃まで1℃ごとの設定可能。
15分間の保温。

初めて使用する際や臭いの気になる際は、ケトル本体の中をよくすすぎ洗いし、念のため下記「沸騰モード」の要領で一度お湯を沸かし、動作を確認してください。
確認できましたらそのお湯は捨ててください。

「沸騰モード」での使い方 (100℃設定)

1 電源プラグをコンセントに差し込む。



電源プレートの切り込みにコードを通してコンセントに差し込んでください。
電源プレートは平らな安定したところに置いてください。
コンセントに差し込むと、ピーッと音が鳴ります。

2 ケトル本体に水を入れる。



入れる水の量は0.3 L以上、0.8 L以下としてください。
水を入れすぎると、ふきこぼれる恐れがあります。また、少なすぎると湯沸し機能が正常に働かない場合があります。
電源プレートの上にケトル本体をセットした状態のまま水が注がないでください。

3 フタをして電源プレートの上へセットする。



蒸気口が注ぎ口側になるようにフタをセットしてください。蒸気口からは高温の蒸気が出ます。ハンドル側にセットすると、注ぐ際にやけどをする恐れがあります。
電源プレート・電源コネクタ部分に異物がはさまっていないこと、電源コネクタ部分が完全に乾いていることを確認してからセットしてください。

4 電源ボタンを押す。→前回設定した温度が表示されます。



ピッと音が鳴り、表示パネルに前回使用した設定温度が点滅表示されます。

5 Setボタンを押す。Setボタンを1回押すと100°C表示。



前回設定した温度が表示されたら、Set ボタンを 1 回押すと 100°Cの表示になり点滅します。

6 電源ボタンを押す。加熱開始されパネルがオレンジに表示。



100°C表示を確認したら電源ボタンを押して加熱を開始します。
加熱をキャンセルする場合は、電源ボタンを押してください。
ケトル本体を電源プレートから外すと、その後ケトル本体を戻しても再加熱や保温はされません。→P.11

沸騰したとき

表示パネルの水温が100°Cを表示し、ピーッ、ピーッ、ピーッ、と音が3回鳴ります。その後、表示パネルには水温が表示されます。

保温はされません。



沸騰から10分間 (オートパワーオフ機能が働くまで) の操作について

沸騰まで再加熱できます。

Setボタンを押してから電源ボタンを押してください。

ピッと音が鳴り、再び加熱が始まります。

表示パネルに現在の湯温と設定温度が交互に表示されます。

沸騰モードでの使い方 **5** **6** 参照

温度調整モード (9ページ参照) で再加熱・保温できます。

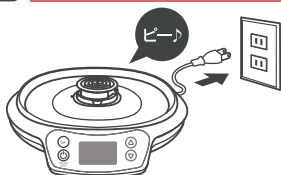
その時の水温よりも低い温度を設定した場合は、すぐに音が鳴り、自然に設定温度以下まで冷めてから加熱・保温を開始します。



ご使用方法(続き)

「温度調整モード」での使い方

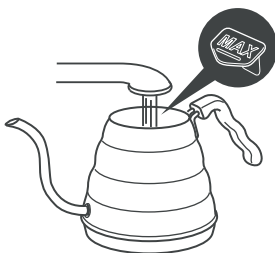
1 電源プラグをコンセントに差し込む。



電源プレートの切り込みにコードを通してコンセントに差し込んでください。

電源プレートは平らな安定したところに置いてください。
コンセントと接続すると、ピーッと音が鳴ります。

2 ケトル本体に水を入れる。



入れる水の量は0.3 L以上、0.8 L以下としてください。

(ケトル本体内側のMAX目盛りが0.8Lの目安となります。)

水を入れすぎると、ふきこぼれる恐れがあります。また、少なすぎると湯沸し機能が正常に働かない場合があります。

電源プレートの上にケトル本体をセットした状態のまま水を注がないでください。

3 フタをして電源プレートの上へセットする。



蒸気口が注ぎ口側になるようにフタをセットしてください。蒸気口からは高温の蒸気が出ます。ハンドル側にセットすると、注ぐ際にやけどをする恐れがあります。

電源プレート・電源コネクタ部分に異物がはさまっていないこと、電源コネクタ部分が完全に乾いていることを確認してからセットしてください。

4 電源ボタンを押す。→ 前回設定した温度が表示されます。



ピッと音が鳴り、表示パネルに前回使用した設定温度が点滅表示されます。

5 温度調整ボタン、またはSetボタンを押して希望の湯温を設定する。



50℃ ~ 96℃

設定範囲

前回使用の温度表示がされたら、右側の△▽ボタンで1℃ごとの温度設定ができます。また、左側のSetボタンで10℃ごとの温度設定ができます。

設定可能な湯温は50～96℃です。96℃より高温は100℃表示です。

※Setボタンを押して10℃ごとの設定をする場合は一度100℃の設定表示になり、ボタンを押すごとに10℃ずつ表示が変わります。

※93℃はHARIOがコーヒーのハンドドリップで推奨する温度です。

6 電源ボタンを押す。→加熱中はパネルがオレンジに表示。



ピッと音が鳴り、加熱が始まります。

表示パネルに水温と設定温度が交互に表示されます。

加熱をキャンセルする場合は、電源ボタンを押してください。

ケトル本体を電源プレートから外すと、その後ケトル本体を戻しても再加熱や保温はされません。→P.11

設定温度に達したとき→パネルがグリーンに変わります。

表示パネルの水温が点灯し、ピーッ、ピーッ、ピーッ、と音が3回鳴ります。

その後、15分間の保温が行われます。

保温中は設定水温が表示されます。

15分の保温終了後にピッと音が鳴り、パネルのグリーンが消えます。



保温中の操作について

保温中は、温度設定ボタンは機能しません。

すぐに設定温度を変えて加熱したい場合は、一度電源ボタンを長押ししてオフにしてから操作してください。

ケトル本体を電源プレートから外すと、その後ケトル本体を戻しても再加熱や保温はされません。→P.11



ご使用方法(続き)

「温度調整モード」での使い方(続き)

保温終了から10分間(オートパワーオフ機能が働くまで)の操作について

保温終了～10分間は**パネルの色が消え、温度のみ表示。**

設定水温まで再加熱をしたい場合

電源ボタンを押してください。

前回の設定温度が点滅表示します。再度電源ボタンを押すとピッと音が鳴り、加熱が始まります。

表示パネルに水温と設定温度が交互に表示されます。

設定水温を変更したい場合

保温終了後10分以内に△▽ボタンを押す。

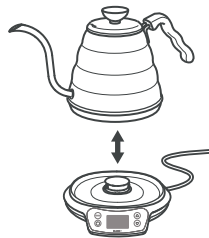
前回使用した設定温度が表示されるので、お好みの湯温へ△▽ボタン、またはSetボタンで温度設定をし電源ボタンを押して加熱します。



「沸騰モード」「温度調整モード」共通の動作

使用中にケトル本体を電源プレートから外すと、

「- - - °C」が表示され、そのままケトルを戻さずに10分経過した場合、オートパワーオフ機能が働きます。10分以内にケトルを戻した場合は、ピッと音が鳴り、水温が表示されます。このとき、保温や加熱の再開は行われません。



オートパワーオフ機能について

操作や動作が10分間何もなかったとき、

自動で電源を切る機能がオートパワーオフ機能です。

(温度調整モードの時は15分間の保温の後からカウントされます。)

表示パネルに3秒間「OFF」が点滅し、

ピーッと鳴った後、表示が消え、電源が切れます。



空だき防止機能について

水が入っていない状態で加熱がされている時、それを検知し自動的に加熱を止める機能が空だき防止機能です。空だき防止機能が作動した際、すぐには表示は変わりませんが、しばらく経つと、ピーピーと音が鳴り「E1」が表示されます。

電源を切る際は電源ボタンを長押ししてください。

また、温度調整モードで空だきの状態になった時（低温時）、「E1」が表示されず通常の保温動作（加熱→15分間保温→保温終了）をする場合があります。



お手入れの方法



お手入れは必ず電源プラグを抜き、ケトル本体が冷めた状態で行ってください。

～ケトル本体外側・電源プレートのお手入れ～






- 乾いたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、かたく絞った布で拭き取ってください。丸洗いやシンナー・ベンジン・灯油などの有機溶剤、研磨材入り洗剤の使用はおやめください。
- 故障の原因になりますので、水をかけたり、水の中に入れてたりしないでください。
- 銀製品やアルミ製品等の異なった金属製品と接触したまま置くとサビの原因になりますので、ご注意ください。

～ケトル本体内側のお手入れ～

- ケトル本体内側の白い汚れは、水に含まれるミネラル成分が固着したものです。衛生上問題はありませんが、定期的に以下の方法でお手入れをしてください。
 1. 水をMAX目盛 (0.8L) まで入れ、その中にクエン酸を30g程度入れてかき混ぜます。
 2. フタを閉めて沸騰させ、その後約1時間放置します。
 3. お湯を捨て、水でよくすすぎます。汚れが残っている場合は、スポンジ等で拭き取ってからよくすすぎます。
 4. クエン酸のにおいが気になる場合は、さらに水でよくすすいでから再度水を入れて沸騰させてお湯を捨ててください。
- 本製品は食器洗い乾燥機のご使用ができません。
- ケトル本体内底面に温度センサーがあります。強い力や衝撃を与えないでください。

故障かな?と思ったら

○次の点をチェックしましょう。

こんなときは		原因	対策
電源が入らない		電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込む。
加熱ができない		ケトル本体が電源プレートに正しく載っていない。	正しく電源プレートにケトル本体を載せてください。
温度調整・保温時の水温が設定温度よりも高い		ケトル本体の水が少ない状態。	ケトル本体の中に水を 0.3 L 以上注ぎ、電源を入れる。
保温しない		電源プレートからケトル本体が離れると自動的にヒータースイッチが切れます。	ご使用方法の「使用中にケトル本体を電源プレートから外すと、」(P.11)を参照してください。
		保温時間15分が経過している。	保温モードは15分間です。(P.10 参照)
ハンドルがぐらつく		ケトル本体とハンドルの取付け部分に異常が出ている。	ただちに使用を中止し当社のご相談窓口までご連絡ください。
表示エラーについて	 E1 ヒーターエラー	ケトル本体に水が無い状態。	電源を切り、ケトル本体が冷めてから水を入れて再度使用してください。(P.12 参照)
	 E2 センサーエラー	ヒーターが故障している。	ただちに使用を中止し当社のご相談窓口までご連絡ください。
	 HHH 水温105℃以上	温度センサーが故障しており温度調整が出来ない状態。	ただちに使用を中止し当社のご相談窓口までご連絡ください。
	 LLL 水温0℃未満	水以外(油分等)を入れている。温度センサーが故障している。	必ず水を使用してください。水を使用しても改善されない場合、ただちに使用を中止し当社のご相談窓口までご連絡ください。
	 E9	安全回路が動き動作を停止しました。	ただちに使用を中止し当社のご相談窓口までご連絡ください。

●高地や寒冷地では性能が確保できない場合があります。そのような場所での使用はなるべくお避けください。

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱くなることがある。
- 電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりすることがある。
- 焦げ臭いにおいがすることがある。
- 水漏れがする。
- その他の異常や故障がある。

ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店か当社のご相談窓口までご連絡ください。お客様ご自身での分解、修理などは大変危険ですので絶対にしないでください。

製品仕様

電 源	AC100V 50Hz/60Hz共用
定格消費電力	900W
最大容量	0.8L
最小容量	0.3L
サイズ	幅300×奥行190×高さ185 (mm)
重 量	0.9kg
コード長さ	0.7m
材 質	本体・フタ／ステンレス ハンドル・フタつまみ／ポリプロピレン 電源プレート／ポリプロピレン

MADE IN CHINA

アフターサービスについて

1. 保証書について

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

保証期間中は必ずご相談窓口までご一報ください。保証書の記載内容に基づき当社で無償修理致します。保証期間を過ぎている場合は、有償修理となる場合があります。

3. 修理用部品の最低保有期間

V60温度調整付きパワーケトル・ヴォーノNの補修用部品は製造打切り後、最低5年保有しています。

ご相談窓口

HARIO株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 9-3
フリーダイヤル：0120-39-8208

EVT-80 説明書1811